

理工学

メディアセンター

ニュース

No.124

JUNE.2009

"Information and Media Center for Science and Technology" Newsletter

6月の開館時間

無印：通常開館 月 - 金 8:45-21:30 / 土 8:45-20:00

○：閉館

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

* 来月以降の開館予定は次のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/service/calendar/>

* 塾内各地区メディアセンターの6月の開館日程は次のウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/service/calendar/#06>

目次

お知らせ 2

館内の空調について

メールアドレス登録・登録変更のお願い

新規導入データベース

雑誌の動き 3

コラム 3

「先端光技術入門 — ナノフォトニクスに挑戦しよう —」

著作権メモ 4

お知らせ

* 館内の空調について

理工学メディアセンターでは、外気温度が 26℃、湿度が 60%以上の場合を基準に冷房装置を稼働させています。設定温度には配慮しておりますが、暑さを感じる際には窓を開けるなど、省エネ対策にご協力いただきますようお願いいたします。

* メールアドレス登録・登録変更のお願い

他地区から取り寄せた本が到着した場合や貸出中の図書の返却期限を事前にメールでお知らせしています。メールアドレスをまだ登録されていない方は、是非登録されることをお勧めします。理工学メディアセンターウェブサイトの申込フォームの「メールアドレス登録」からご登録ください。また、メールアドレスを変更された場合も下記フォームから登録変更の手続きをお願いします。

接続先：理工学メディアセンターウェブサイト「申込フォーム」

→メニュー「メールアドレス登録」

<https://online.lib.keio.ac.jp/st/req/infomail.html>

* 新規導入データベース

以下のデータベースが新規に利用可能となりました。どうぞご利用ください。
ご利用は、理工学メディアセンターウェブサイトのメニュー「データベース」から可能です。

・東洋経済オンライン

東洋経済新報社が発行する『週刊東洋経済』『金融ビジネス』をはじめ、各種の会社四季報や企業ディレクトリ等の本文を収録。主に PDF 形式でのダウンロード・印刷が可能です。

接続先：理工学メディアセンターウェブサイト「データベース」

→分野別「経営・ビジネス系 / Management Business」

<http://www.toyokeizai.net/dcs/>

雑誌の動き

【新規受入】

- ・ デジタル・デザイン・テクノロジー = Digital Design Technology 1 巻 1 号 (2009.Spr.) -
- ・ Cancer prevention research / American Association for Cancer Research
Vol. 2, no. 1 (2009.1) - 電子ジャーナルで利用できます

【刊行媒体変更 (冊子 → CD-ROM 刊行)】

- ・ 年会講演会講演集 (CD-ROM) / 日本航空宇宙学会 40 期 (2009) -

【廃刊】

- ・ Design wave magazine = デザインウェブマガジン - 14 巻 3 号 (2009.3-4)
- ・ Metallurgical abstracts on light metals and alloys / The Light Metal Educational Foundation
- Vol.41 (2007/2008)

コラム

* 「先端光技術入門 — ナノフォトンクスに挑戦しよう —」

(先端光技術シリーズ：3)

大津元一 [ほか] 著 朝倉書店

光技術の限界を超えるために提案された日本発の革新技术がナノフォトンクスです。これによって、デバイス、加工、システムが回析限界を超えて微小化、高分解能化、大容量化するという量的変革が実現しました。

「先端光技術シリーズ (全 3 巻)」の最終巻である本書は、ナノフォトンクスの原理や事例、システムへの展開のほか、材料と加工について豊富な図表で解説しています。また、学習の助けとなるよう、著者がかつて感銘を覚えた言葉や研究開発上の体験などを 11 のコラムで紹介しています。シリーズ第 1 巻で光の性質、第 2 巻で物質の性質について学び、その内容をもとに第 3 巻で先端光技術の事例に触れ、従来の光技術とは違う考え方を学び、新しい光技術を開拓するための方法論として活用できる内容となっています。当館所蔵のシリーズ第 1 巻「光学入門 — 光の性質を知ろう —」：425 @ O2@4、第 2 巻「光物性入門 — 物質の性質を知ろう —」：428@S9@1 と合わせてご利用ください。

(請求記号：549 @ O13 @ 2 配架場所：本館 2 F 一般図書)

(図書担当 田中 美枝子)

著作権メモ 46

《館内で資料のコピーができるわけ》

通常の著作物（みなさんが最もよくコピーをとる雑誌論文や図書はもちろん、幼児の描いた絵も立派な著作物です）は著作権法により保護されており、著作者の許可なく勝手に複写することはできません。では何故みなさんは館内で資料のコピーをとることができるのでしょうか？

著作権法第31条は、著作権法に縛られない例として「図書館における複製」について述べています。

第三十一条

図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で定めるもの（メディアセンター注：大学図書館はこれに含まれます）においては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料を用いて複製することができる。

一号 図書館などの利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物）に掲載された個々の著作物にあつては、その複製物を一人につき一部提供する場合

大学図書館においては、営利を目的とせず調査研究や学習のためであれば、一部のコピーが認められることになっています。ただしコピーしてよいのは、図書ならばその一部（半分を超えない量）あるいは、最新号ではない雑誌に掲載された論文一本と解釈されています。

みなさんも「館内で資料のコピーができるわけ」を知ったうえでの適切なコピーをお願いいたします。

発行：慶應義塾大学理工学メディアセンター

E-mail : riko-mcinfo2@adst.keio.ac.jp Home Page : <http://scitech.lib.keio.ac.jp>

電子版のご利用はこちら→ <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/guide/publication/mcnews.html>